

ものがたり せいせい もんだいえんしゅう 物語パラグラフ生成-問題演習

→ 講義 物語の時制 [lecture](#) [english](#) [tense](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/tense/物語の時制-講義/>

→ 問題演習 物語の時制 [exercise](#) [english](#) [tense](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/tense/物語の時制-問題演習/>

1 実施方針

この演習では、1文ずつ訳すのではなく、箇条書きの場面情報から3文から4文の短い物語段落を構成する。前景の出来事、背景の継続、基準時点より前の先行事態を分離してから、過去形・過去進行・過去完了を配置する。

目標は、一文単位の正誤判定ではなく、段落全体の時間線を安定させることである。各問題では、必須要素をすべて含みつつ、背景と出来事の重心が明確になるように英訳する。

2 問題 1

場面:

- 図書館の閉館直前である
- 外では雨が強く降っていた
- 私は返却日を1日勘違いしていた
- 司書が静かに事情を説明した
- 私はあわてて借りた本を机へ置いた

2.1 ヒント

雨は背景、返却日の誤認は気づいた時点より前である。

2.2 解答例

Correct

The rain was falling hard outside as the library was about to close. I then realized that I had mistaken the due date by a day. When the librarian quietly explained the situation, I hurriedly placed the books I had borrowed on the desk.

2.3 解説

主問題は TNS と CLS である。第 1 文で背景を was falling と was about to close で保持し、気づきの瞬間を realized で前景化する。勘違いは先行していたので had mistaken とする。

2.4 よくある誤り

- [TNS]: I realized that I mistook the due date by a day.
- [CLS]: 背景文と出来事文を一文へ無理に圧縮し、主節が曖昧になる

3 問題 2

場面:

- 研究室では警告音が鳴っていた
- 停電の間に冷却装置が止まっていた
- 同僚は窓を開けて熱を逃がしていた
- 私は試料がすでに温まり始めていることを確認した
- 全員で予備室へ運び込んだ

3.1 ヒント

警告音と窓を開ける動作は背景化しやすい。試料の変化は確認時点より前から始まっている。

3.2 解答例

Correct

An alarm was sounding throughout the laboratory, and my colleague was opening the windows to let the heat out. During the power outage, the cooling system had stopped, and I soon confirmed that the samples had already started to warm up. We then carried everything into the backup room.

3.3 解説

主問題は TNS である。背景の持続は was sounding と was opening で表現できる。停電中の停止と試料の昇温開始は confirmed より前なので、had stopped、had already started が必要である。

3.4 よくある誤り

- [TNS]: the samples already started to warm up
- [COL]: escape the heat を他動詞的に誤用して opened the windows for escaping the heat とする

4 問題 3

場面:

- 駅前えきまえの広場ひろばでは路上演奏ろじょうえんそうが続いてつづいた
- 私は卒業後そつぎょうごずっと会あってあいなかった友人ゆうじんを見つみけた
- 彼は以前かれ いぜん、「いつか戻もどる」と言いっていた
- 彼は笑かれ わらいながら肩かたを軽かるくたたいた
- 私はやわたしっとその約束やくそくを思おもい出だした

4.1 ヒント

再会さいかいそのものを前景ぜんけいに置おき、約束やくそくの想起そうきは後続こうぞくで処理しりする。

4.2 解答例

Correct

Street music was filling the square in front of the station when I spotted a friend I had not seen since graduation. He laughed, tapped my shoulder lightly, and in that moment I finally remembered that he had once said he would come back someday.

4.3 解説

主問題しゅもんだいは TNS と REG である。場面ばめんの開示かいじには was filling が有効ゆうこうであり、再会さいかいの核かくは spotted で前景化ぜんけいかする。卒業後そつぎょうごずっと会あってあいなかったことは had not seen でなく I had not seen since graduation として名詞節めいしせつを簡潔かんけつに保たもつ。

4.4 よくある誤り

- [TNS]: I finally remembered that he once says he will come back someday.
- [REG]: 叙情的な物語文じょじょうてき ものがたりぶんなのに I could confirm his past statement のような事務的な表現じむてき ひょうげんを混入こんにゅうさせる

5 問題 4

場面:

- 山道やまみちでは風かぜが急きゆうに強つよくなっていた
- 私わたしたちは地図ちずを何度なんども見直みなおしていた
- 分岐点ぶんきてんの標識ひょうしきは少し前すこの雨まえで倒たおれていた
- 先頭せんとうを歩あるいていた人ひとが懐中電灯かいちゅうでんとうを高たかく上あげた
- 私わたしたちは引ひき返かえすことを決きめた

5.1 ヒント

迷っている状態を背景で保ち、決定を段落の終点に置く。

5.2 解答例

Correct

The wind was growing stronger on the mountain trail, and we were checking the map again and again. A sign at the fork had been knocked down by the earlier rain. When the person walking in front raised a flashlight high above us, we decided to turn back.

5.3 解説

主問題は TNS と CLS である。前半で状況の不安定さを was growing、were checking で持続化し、標識が倒れていた事実を had been knocked down で先行事態として処理する。決定を最後に置くことで段落の収束点が明確になる。

5.4 よくある誤り

- [CLS]: 判断より背景描写が長くなり、何が主出来事か不明になる
- [TNS]: A sign at the fork was knocked down by the earlier rain. として先行性が埋没する

6 問題 5

場面:

- 港には朝霧が残っていた
- 船長は出港前から無線で連絡を続けていた
- 沖で別の船が進路を変えていた
- 私たちはその情報を受けて荷物の固定をやり直した
- 作業が終わるころには霧が少し薄くなっていた

6.1 ヒント

無線連絡と霧は背景、荷物の固定をやり直す判断が中心である。

6.2 解答例

Correct

Morning fog still hung over the harbor, and the captain had been communicating over the radio since before departure. Another vessel had changed course offshore, so we secured the cargo again in response to the new information. By the time the work was finished, the fog had begun to thin.

6.3 解説

主問題は TNS であり、最後の文では CLS も関与する。継続的な無線連絡は had been communicating で表現すると、出港前からの持続が明確になる。作業終了時点より前に霧の変化が始まっているので had begun to thin とする。

6.4 よくある誤り

- [TNS]: the captain was communicating over the radio since before departure
- [COL]: did the cargo fixed again のように固定作業の表現を崩す

7 実施後メモ

各問題について、背景に置いた要素、前景に置いた要素、過去完了を使った箇所を 1 行で記録する。

Display

Q1 | 背景: rain / library closing | 前景: realized, placed | past perfect: had mistaken

Q4 | 背景: wind, checking map | 前景: raised, decided | past perfect: had been knocked down

8 関連リンク

→ 講義 物語の時制 [lecture](#) [english](#) [tense](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/tense/物語の時制-講義/>

→ 問題演習 物語の時制 [exercise](#) [english](#) [tense](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/tense/物語の時制-問題演習/>

→ 問題演習 段落タイムド英訳 [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/段落タイムド英訳-問題演習/>

→ 定石集 誤りタグ体系 [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/誤りタグ体系-定石集/>